

### (3) 森づくり課の事務・事業

#### ①市営林造林管理事業

##### ・市営林保育事業

市には約3,000haの市営林があります。この森林で間伐・作業道作設・森林認証取得・森林保険加入等の事業を行っています。

2022（令和4）年度は、下表のとおり事業を実施しました。

表 2022（令和4）年度市営林保育事業

場所	整備内容	実施数量
大滝栃本地区	作業道作設	160m
吉田石間地区	下刈り	1.45ha
高篠山田地区	間伐、作業道作設	2.38ha、730m
高篠山田地区 (2021（令和3）年度繰越事業)	切捨間伐	1.62ha
大滝栃本地区 (2021（令和3）年度繰越事業)	搬出間伐	1ha
大滝栃本地区	樹皮ガード設置	1,100本、5.5ha
秩父市有林全域	森林管理認証取得	3,004.98ha
秩父市有林の一部	森林保険加入	128.48ha
(以下、地域おこし協力隊)		
高篠山田地区	間伐、作業道作設	1.25ha、510m



地域おこし協力隊による作業風景

## ・ふるさと文化財の森

文化庁では、文化財建造物の保存修理に必要な資材の供給林及びそれら資材採取の技能者を育成する研修林を「ふるさと文化財の森」として設定しています。

市有林のうち、樹齢100年生をはじめとする高齢級のスギ・ヒノキ等の森林が約60haまとまっている栃本市有林においては、「200年生の森づくり」基本方針を策定し、将来的に文化財修復用材としての利用も視野に入れ育成しています。なお、2019（平成31）年3月20日には「ふるさと文化財の森」【<sup>ひわだ</sup>檜皮、木材（スギ・ヒノキ）】の設定を受けています。

2018（平成30）年7月6日には、公益社団法人全国社寺等屋根工事技術保存会と「檜皮採取に関する協定」を締結しました。

2022（令和4）年度は1,525kgの檜皮が採取されました。



檜皮採取作業



まとめられた檜皮

## ②森づくり事業

### ・企業の森活動事業

市では、企業の CSR 活動の一環として行われている「企業・団体による森づくり」活動に取り組んでいます。普段森林と接する機会の少ない都市住民の方を中心に、市有林をフィールドとして植林や下刈、間伐等の森林保育活動を実践していただいています。協定は「埼玉県森林づくり協定」に基づくもの、その他のものがあります。



株式会社オリエントコーポレーション  
オリコの森 除伐

## ・ 緑の家庭募金事業

市では、公益社団法人埼玉県緑化推進委員会と協力して、緑の家庭募金を実施しています。各町会ごとに「みどりの募金」に協力いただき、前年の募金額の半分が同委員会を通じて市に寄附され、緑の家庭募金緑化事業として国土緑化、身近な緑の創出等に活用されています。2022（令和4）年度においても、2021（令和3）年度の募金額の半分が市に寄附されました。市では、この寄附金を活用して、市有林の間伐事業等、募金の趣旨に沿った取り組みを行う予定です。

2022（令和4）年度の募金実績は、下表のとおりです。

表 2022（令和4）年度緑の家庭募金

2021（令和3）年度募金額	1,308,468 円
2022（令和4）年度緑の家庭募金緑化事業寄附額（実施額）	654,000 円
2022（令和4）年度募金額	1,278,833 円

## ・ 秩父森づくりの会

秩父森づくりの会は2012（平成24）年に設立され、市と公益社団法人埼玉県農林公社が所有する横瀬町芦ヶ久保地内の分収林を主な活動拠点として、ボランティアで森づくり活動を実施しています。2023（令和5）年3月末時点の会員数は36人となっています。

2022（令和4）年度の活動は下表のとおりです。

表 2022（令和4）年度秩父森づくりの会の活動

活動内容	活動回数（回）	参加人数（人）
間伐、玉切り、薪づくり等	20	222



間伐等



薪用材の玉切り等

秩父森づくりの会活動の風景

## ・ としまの森づくり事業

市と豊島区は1983（昭和58）年に姉妹都市の提携をして以来、38年間と長きにわたり交流を続けており、この交流事業の一環として、2019（令和元）年度からは、「としまの森づくり事業」を実施しています。

2022（令和4）年度の活動は下表のとおりです。

表 2022（令和4）年度「としまの森づくり事業」実施内容

整備内容	実施数量
刈り払い	0.37ha
遊歩道整備	324m
大径木処理	82本
落下防止ネット設置	245m
落石防護ネット設置	249m
イベント指導	1回
巡回・整備	2回



としまの森  
整備前（左）と整備後（右）

### ③木材活用推進事業

#### ・ウッドスタート事業

市では2014（平成26）年3月に「ウッドスタート宣言」を行い、新生児の10か月児健康診査時に、誕生祝い品として木のおもちゃを配付しています。木のおもちゃは「TUMICCO（つみっこ）」、「ちちぶの幸」または「木守りのおうち」のいずれかを選ぶことができます。

2022（令和4）年度は、「TUMICCO（つみっこ）」65個、「ちちぶの幸」124個、「木守りのおうち」78個、合計267個を配付しました。



「TUMICCO（つみっこ）」



「ちちぶの幸」



「木守りのおうち」

## ・イベント出展

秩父産木材のPRのため、秩父地域森林林業活性化協議会（ちちぶ定住自立圏事業）として各種イベントに出展しています。

2022（令和4）年度の実績は下表のとおりです。

表 2022（令和4）年度イベント出展

期日	イベント名	場所
5月14日・15日	第40回木が香る秩父フェスティバル	道の駅ちちぶ
10月8日	さいたま市南区 ふるさとふれあいフェア	浦和競馬場
11月5日	木育ワークショップ in 東京おもちゃ美術館	東京おもちゃ美術館
11月5日・6日	第41回木が香る秩父フェスティバル	道の駅ちちぶ
12月10日	クリスマスリースづくり	埼玉森林管理事務所
3月2日～4日	としま MONO づくりメッセ	サンシャイン

## ④森林環境譲与税運用事業

### ・森林保全巡視

不法採取者や山林火災等による被害を未然に防ぐため、巡視員によるパトロールを行っています。主に月2回、市有林の状況確認を行っています。

2022（令和4）年度は1人の巡視員へ委託し、パトロールを実施しました。



巡視の様子

## ・ 集約林地測量及び資源量調査

2019（令和元）年度から始まった森林経営管理制度において、経営管理権の設定を検討している森林について、経営管理権設定の可否及び間伐等森林整備を行うための基礎資料として、森林所有者の境界確認・測量及び資源量調査を行っています。

2022（令和4）年度は高篠24林班の約29ha、2021（令和3）年度繰越事業の久那16林班（1回目）の約21haについての事業が完了しております。

## ・ 送電線下伐採

吉田阿熊地区、別所地区の重要施設までの約3kmのうち、320mの区間で危険木・支障木の伐採を行いました。



送電線下伐採  
実施前（左）と実施後（右）

## ・ 森林整備事業補助金の交付

国庫補助や県単独補助の対象外となる森林等について、林業事業者等が実施する間伐等の森林整備を対象とした補助金制度を2022（令和4）年度から開始しました。補助事業は2023（令和5）年度に繰越事業となっており、市内の林業事業者等に交付する予定です。



## ・ 森林環境教育

学校の授業で森林・林業について学び始める小学校の児童を対象として、学校の近くに豊かな森林があるという立地を活かし、林業や木材加工の現場を見学していただき、地域の森林を知り、林業の大切さ、面白さを体感することで、地域の森林や林業という仕事に興味を持ってもらうための事業を行っています。

2022（令和4）年度は荒川東小学校4年生27名・5年生15名の計42名が学習しました。



森林環境教育の様子

## ・ 林業就業者対策事業

県内唯一の森林科学科を設置する秩父農工科学高校の生徒を対象にチェーンソー資格取得、林内作業体験、木材センター共販体験等を実施しています。本事業の実施により、林業体験を通じて林業を進路の選択肢の一つとしてもらうことを目的としています。

2022（令和4）年度は延べ61人が受講しました。



林業就業者対策事業の様子

## ・ 森林管理道保全工事

降雨による林道の崩壊は、側溝に土砂がたまり、排水不良となることが原因で発生することが多いと考えられています。林道の崩壊を未然に防止するため、森林管理道保全工事を行っています。

2022（令和4）年度は、下表のとおり実施しました。

表 2022（令和4）年度森林管理道保全工事実績

工事場所	実施数量	工事場所	実施数量
（秩父管内）林道大神楽線	115m	（大滝管内）林道大達原線	350m
（荒川管内）林道熊倉線	70m	（大滝管内）林道雲取線	400m
（吉田管内）林道女形線	1,670m		



森林管理道保全工事  
実施前（左）と実施後（右）